

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市田町) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的な生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>毎日の手洗い・消毒・検温励行</p> <p>学童セーフティ</p> <p>集団下館による安全確保</p> <p>毎日の連絡帳による家庭との連携 グループ活動による人間関係づくりと情緒の安定</p> <p>挨拶、手洗い足洗い、片付け、整理整頓などの 日常実践</p> <p>当番活動の定着、充実 グループ活動や集団下館、館外活動による 人間関係づくりと社会性の育成</p>	<p>手洗い・消毒・検温時には職員が傍で声を掛けることで徹底することが出来た。ハンカチ忘れの児童については、忘れないよう引き続き声を掛けていきたい。</p> <p>毎月交通ルールについて話をしたり、警察署の方に来てもらい交通安全の話をしてもらうことで子ども達にも交通安全についての意識を持つことが出来た。ただし、理解はしていても実際の行動に伴わないことがあるため、今後も継続して話をしていきたい。</p> <p>グループの人数を帰りの会で確認した後、玄関に職員が立ち、見送るようにした。 また毎日の下館指導として近くの横断歩道まで職員が見守りを行った。12月以降は全コースを見回る見守りも行う。 連絡帳を自主的に提出することを身につけた。連絡事項があれば、連絡帳や電話等で保護者と連携をとった。 途中からさくらdaysを導入する。 班活動が定着しているので、自主的に役割を理解し、行動できる形ができています。立て割り班の成果が出ている。 役割を持つことで、自分たちで行う意識づけができた。</p> <p>おもちゃ棚を整理することで、片付け・整理整頓がスムーズになった。 ロッカーの整理整頓ができるよう掲示を行い、改善することができた。</p> <p>班活動、日直、帰りの会の司会等定着している。来年度、年度初めより同じようにスタートしても問題ない。 3・4年生が見本となり、次の学年の憧れとなるとよい。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>3年生企画</p> <p>あそびの発表会</p> <p>新入生歓迎会</p> <p>共同製作 (巨大ロジック)</p> <p>お誕生日会</p> <p>3年生会議</p>	<p>事前会議と準備期間を持つことで、意識を高め、当日に臨めた。主体的に関わり、達成感を味わうことが出来た。</p> <p>けん玉・卓球・ダンス・手品・コマ・手話うたなど練習した成果を保護者に発表した。作品展示も同時に行うことで学童クラブ児童全員が参加できる会となった</p> <p>新入生と在籍児童の顔合わせ。在籍児童があそびのパフォーマンスを行う事で、楽しく新年度をスタートできる良い機会となった。</p> <p>みんなでひとつの物を作る経験をしてほしいと始めた制作。あそびの発表会で展示する。作業中は異年齢で教え合う姿もあり良い機会となった。</p> <p>帰りの会前にお誕生日会を開き、みんなでお祝いをする。また、その日はお誕生月の児童にリクエストを聞き特別おやつにすることで、特別感を感じる事ができた。</p> <p>回を重ねるごとに、自主的に考え、意見を出し、まとめる力が徐々についてきた。 普段の生活の中でも、学童クラブの手本として、リーダーとして力がついてきた。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>学童だよりの配布 児童館だよりの配布 保護者への子育て情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談 ・登録説明会 ・入会説明会 ・さくらdays導入説明会 <p>ボランティアとの連携交流 小学校との連携交流・授業参観への参加 主任児童委員との連携交流</p>	<p>お便りに学童クラブでの様子を載せることで保護者に子どもたちの様子を伝えることが出来た。</p> <p>夏休み前に全家庭対象に個人懇談を実施。館や家での様子を共有する。 新規登録の家庭対象に学童クラブについて、また登録申請方法についての説明会を行った。 全家庭を対象に、児童館での過ごし方や春休みについて説明会を行った。 さくらdays導入に向けての説明会を行った。</p> <p>大学生のボランティアに来てもらい、学童クラブ児童との交流を図った。 気になる児童については、学校、保護者と面談を行い、共に子育てをしていく体制をとった。 細やかな対応に気を配っていきたい。 夏期休業前には、各学年の担任と学童担当職員で面談をしている。</p>